

情報モラルと合意形成と

千葉県立八千代東高等学校 谷川 佳隆

情報モラルを指導するうえで危険なことの例ややってはいけないことを教えるだけでは効果的ではない。ネットやスマホなどどう付き合っていくのか、生徒自らが考え、グループで意見交換をし、グループごとに合意形成しながら行動宣言という形で発表し、お互いに評価し合うという授業を行った。また、その実践をコンクールにも応募している。そのことを紹介する。

1. 情報モラル教育

ここ数年で急激にスマートフォンが普及し、ほとんどの高校生がスマートフォンを所持するようになった。そして、スマートフォンやそれにインストールした(もしくはされた)アプリケーションの使用に伴う諸問題が発生している。生徒自身が問題を起こしたり被害に巻き込まれたりしないように、生徒自身が判断して行動できる力や態度そして安全に対する意識・技能などの育成の必要性が増している。

文部科学省のサイトによると情報モラル教育¹には5つの柱があり、その5つの関係は図1の通りである。

5つの柱

- 情報社会の倫理
- 法の理解と遵守
- 安全への知恵
- 情報セキュリティ
- 公共的なネットワーク社会の構築

また、情報モラル教育の内容は次のように紹介されている。

- 情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てること
- 情報社会で安全に生活するための危険回避の理解やセキュリティの知識・技能、健康への意識

図1において、前が「日常モラル 心を磨く領域」、後が「情報安全教育 知恵を磨く領域」となる。

2. ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール

IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)では今年で第12回目になる「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール²」を実施している。

募集概要は以下とおりである。

- 情報モラル・セキュリティの大切さが伝わる作品を「標語」「ポスター」「4コマ漫画」で表現してください。
- また、小学校向けに「書写(硬筆)」、中学校、高等学校向けに「私たちの情報モラル・セキュリティ行動宣言」を募集します。
- 個人または学校単位でご応募ください。

毎回テーマが設定されていて、第12回のメインテーマは「ことばの力(ちから)」である。

第10回目から高等学校向けに「私たちの情報モラル・セキュリティ行動宣言」が始まることを知り、グループを作り行動宣言をクラス内で発表し、またこのコンクールに募集することとした。

行動宣言をグループで考えるに当たり、「スマホトラブルの原因とその解決に向けてのリテラシー教育の提案³」からヒントを頂き、お互いにスマートフォンの良い点や困っている点を話し合い、困っている点にどのように対応していくかをグループで話し合いまとめ、合意形成しながら各グループで行動宣言にまとめスライドを作成し、発表し、相互評価をした。

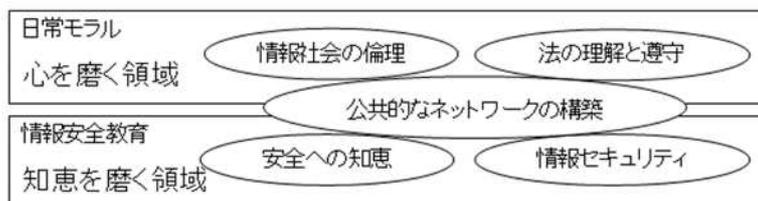


図1 「児童生徒に身につけさせたい情報モラル」

3. 授業展開

勤務校では1年生で「社会と情報」を学んでいる。1学期中間考査後の5月下旬から6月上旬にかけて、3時間をかけて実践した。

最初の情報の授業において、グループで情報カードによる問題解決情報を行っていたことと、グループで行動宣言を公表すること予告したので、スムーズにグループでの活動を行うことができた。

3.1 1時間目

教室でこれからの流れの説明とプリントなどを配布する。そして、各自でスマートフォンの良い点と困っている点を書き出す。次に、机を合わせてグループを作り、リーダーと書記などを決める。良い点と困っている点をグループで共有する。困っている点について対応策をまず自分で考えて、それからグループで話し合いグループでの対応策を決める。

3.2 2時間目

教室でこの時間に流れと配付物などについて説明する。スライド作成上の注意事項なども説明する。各グループは前回の続きから始め、対応策が共有できたら、各自で行動宣言を書き出す。グループで行動宣言を合意形成する。

各グループにスライド作成用の紙と油性ペンを配布し、グループ内で分担してスライドを作成する。巡視をしながら、発表の順番をくじで決めて発表する。最後に次回の予告をし、油性ペンなどを回収する。



図2 発表準備の様子

3.3 3時間目

3時間目は、場所を変え会議室で、発表と行動宣言の共有化と相互評価を行う。発表はグループ内で分担し各自が作成したスライドを担当する。

発表が終わったら、黒板に行動宣言を書き出し、各自のプリントに行動宣言を写し、また相互評価

する。今年から、クラスで一番良かった行動宣言を選ぶようにした。



図3 発表の様子

4. 生徒の感想

3時間目にすべての発表後に振り返りをかねて感想を書いてもらった。その一部を紹介する。

- みんな考えは一緒だなと思った。
- 使い過ぎには注意したいと思う。
- 個人情報もしっかり管理する。
- スマホの使い過ぎには気を付けようと思いました。
- SNSなどに頼りすぎではいけないと改めて思いました。
- これからは時間を決めてスマホを使いたいです。

多くの生徒が似たような感想を書いていたことに気が付いた。

5. 今後に向けて

週2時間しかない情報の授業に3時間をかけることは、他の内容を速く教えるか省略する必要がある。ただ、情報モラルについて生徒自身が考え、行動宣言を作り出し、クラスで共有することは続ける意義があることだと感じているので、今後も改良しながら続けていきたい。

引用・参考サイト

- (1) 第5章 情報モラル教育
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/056/shiryu/attach/1249674.htm
- (2) ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール <http://www.ipa.go.jp/security/event/hyogo/2016/>
- (3) スマホトラブルの原因とその解決に向けてのリテラシー教育の提案
<http://www.slideshare.net/chiaki9615/ss-32087352>